

## ⑤8 復興道路（三陸沿岸道路）・復興支援道路 （宮古盛岡横断道路・東北横断自動車道釜石秋田線、東北中央自動車道）

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 道路部、国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所  
 国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所、国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所  
 国土交通省 東北地方整備局 南三陸沿岸国道事務所、国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所  
 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所、国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

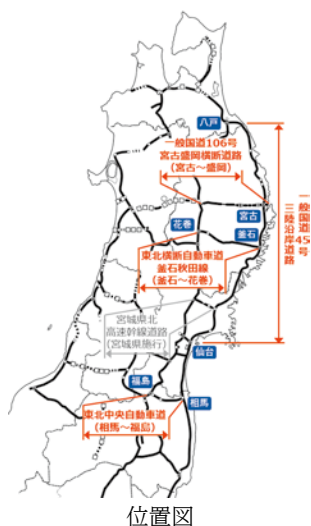
**キーワード** 復興道路・復興支援道路、早期の全線開通、事業促進PPPの導入、復興加速化会議

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

仙台から八戸までの沿岸軸を結ぶ三陸沿岸道路「復興道路」と3本の東西横断軸「復興支援道路」の整備。震災から10年9ヶ月で、550kmという復興道路、復興支援道路の全線を開通するため、計画、用地取得、施工の各段階で、官・民が一丸となって、事業プロセス短縮の様々工夫に取り組み、実現につなげた点が評価された。

### 1. はじめに

東日本大震災から8ヶ月、仙台から八戸までの沿岸軸を結ぶ「復興道路（三陸沿岸道路）」と4本の東西横断軸である「復興支援道路（宮古盛岡横断道路・東北横断自動車道釜石秋田線・東北中央自動車道）」を整備する方針が決定され、早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられた。「復興道路」・「復興支援道路」は、東西横断軸の1つである宮城県北高速幹線道路を宮城県が整備し、その他区間を東北地方整備局が中心となって整備したものである。



位置図

### 2. 事業の概要

「復興道路」・「復興支援道路」は、悪天候や災害時においても寸断されない強靱で信頼性の高いネットワーク



東北横断道釜石秋田線と三陸沿岸道路を繋ぐ「釜石ジャンクション」

を形成するとともに復興まちづくりの支援に向けてICが弾力的に配置されるよう整備を進めた。

事業を進めるにあたり、東日本大震災からの復興のため早期の全線開通を目指し、国内初となる事業促進PPPの導入や構造物工事の大ロット化、用地取得前の埋蔵文化財試掘調査の実施など様々な事業プロセス短縮のための手法を活用した。また、事業が円滑に進むよう復興加速化会議などの官・民が一丸となって課題解決できる体制を構築することで、その場で問題・課題等を情報共有し調整を実施したこと、更に施工時の工夫により、事業化してから供用まで平均14年かかるところを平均8年で完成させ、事業化から10年1ヶ月（震災から10年9ヶ月）で延長約570km全線を開通させることが出来た。



復興加速化会議の様子

### 3. 事業の成果

今回の全線開通により、各主要都市間の所要時間が大幅に短縮されたことで、産業振興や物流効率化、観光の活性化や救急医療活動支援など、様々な分野において被災地復興に寄与するものと期待されている。

実際に南三陸町では震災前に比べ観光客数が1.3倍に増加し、相馬市のとある施設でも内陸部から訪れる人が1.3倍増加した。また釜石港では港を利用する企業が開通前に比べて2倍以上に増加し、相馬港では背後圏へ新たに立地する企業が開通前と比べて6倍以上に増えている。

### 4. おわりに

全線開通したことにより、交通量が全路線で増加し沿線では様々な効果が現れており、地域から嬉しい話題が多く届いている。

今後、「復興道路」・「復興支援道路」が、東北のさらなる発展に向けて、より多くの人々に活用されることを願っている。